

足尾鉍毒事件

明治三十五年（一九〇二）ころ作成された地図（縦二七cm×横三六cm）です。被害が重い順に、一等（茶色）、二等（明るい茶色）、三等（淡い朱色）、四等（青）、五等（山吹色）、普通地（灰色）、普通地より被害が少ない場所（黄色）、無害地（白色）と色分けされています。

明治二〇年（一八八七）頃から足尾銅山から廃棄される鉍毒（硫酸銅や亜硫酸など）が渡良瀬川を汚染し、魚類を死滅させ、耕地を荒廃させる鉍毒事件が発生し、社会問題になりました。鉍毒の被害の調査が行われ、この地図が作成されました。

群馬縣 足尾銅毒被害地略圖

被害程度凡例						圖中符號		
一等	二等	三等	四等	五等	普通地	山田	田	河川
茶色	明るい茶色	淡い朱色	青	山吹色	灰色	山田	田	河川
（茶色）	（明るい茶色）	（淡い朱色）	（青）	（山吹色）	（灰色）	山田	田	河川

